



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。ここに、2023年3月期連結会計年度のご報告を申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたものの、急激な為替の変動や世界的な原材料価格の高騰による消費者物価の上昇もあり、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、店舗施設の来店者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には至らず、収益面で厳しい状況が続いております。

なお、2022年11月の次世代パチスロ機の導入開始により、業界活性化への期待が高まる傾向にあります。しかし2023年1月からは、4月以降に控える話題機種への導入に必要な投資資金確保のため、広告費支出が大きく抑制されたことから、広告需要は低調に推移いたしました。

その一方で、パチンコホール以外の広告分野については、現在力を入れているフィットネス施設などにおける広告需要は回復基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール以外の顧客開拓・取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。また、引き続き販管費などの抑制に努めました。

これらの取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は7,545百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は401百万円（同35.4%増）、経常利益は420百万円（同34.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は369百万円（同49.4%増）となりました。

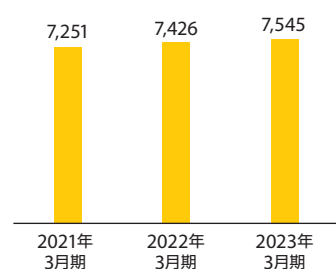
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

代表取締役CEO 山本正卓

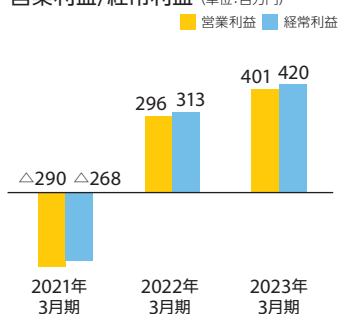
2023年6月

連結財務ハイライト

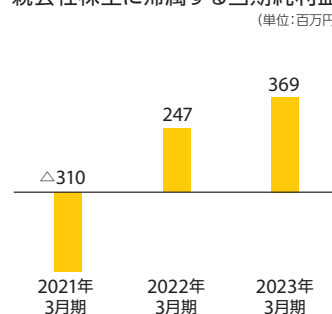
売上高（単位：百万円）



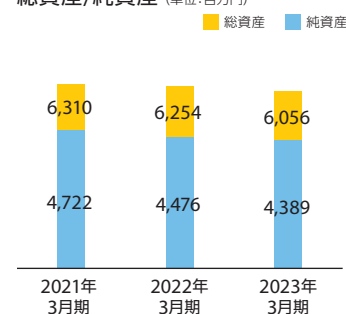
営業利益/経常利益（単位：百万円）



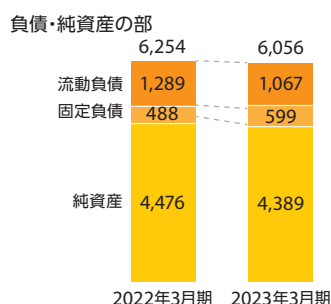
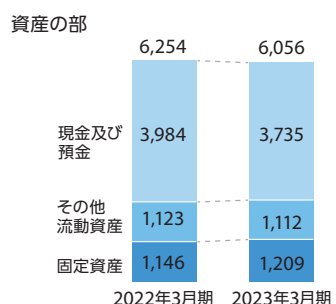
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



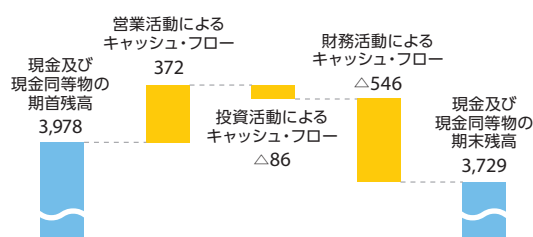
総資産/純資産（単位：百万円）



連結貸借対照表（単位：百万円）



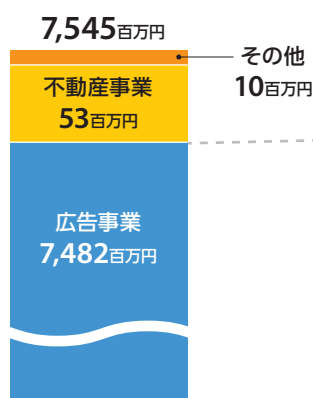
連結キャッシュ・フローの概要（単位：百万円）



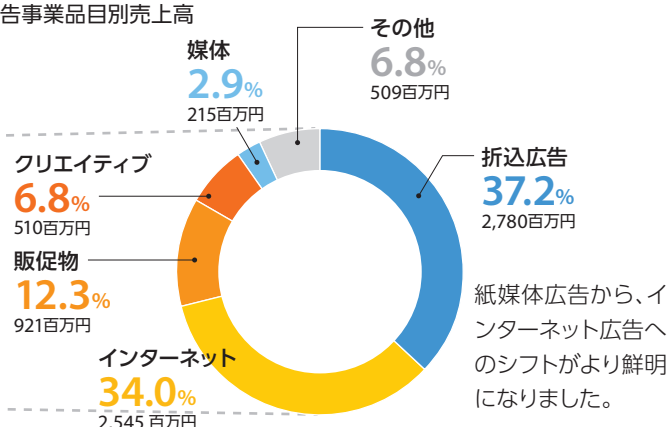
※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額の表示を省略しております。

2023年3月期の実績

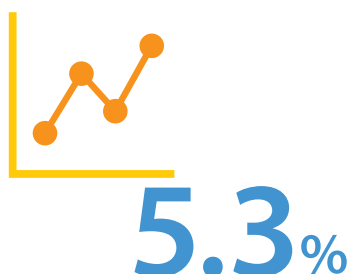
事業別売上高



広告事業品目別売上高



売上高営業利益率



利益率の高いインターネット広告が増加したことから、前年同期 (4.0%) と比較し改善しました。

自己資本当期純利益率

ROE
8.3%

前年同期 (5.4%) と比較し上昇しました。

1株当たり当期純利益

EPS
27.85円

前年同期 (16.90円) と比較し増加しました。

配当金



期初に公表した配当予想のとおり、実施しました。

自己株式取得総額

(取得期間:2022年6月20日～ 2023年1月18日)



資本効率の改善を目的として、自己株式の取得を実施しました。

今後の対処すべき課題と施策

当社グループでは、次の3点を対処すべき課題と認識し、取り組んでまいります。

① パチンコホール広告の収益回復

- ・集客支援のノウハウを活かし、付加価値の高いサービスの提供

② 需要の伸びが期待されるセクターでの顧客開拓

- ・フィットネス、住宅関連分野広告のさらなる拡販
- ・公営競技等大型施設への集客支援サービスの提供
- ・地域密着型の広告代理店をはじめとしたパートナー企業との協業案件の推進

③ デジタル・アド分野におけるサービスラインナップの充実

- ・これまで投入してきた各インターネットサービスのさらなる充実
- ・テクノロジーの進化に適応した広告サービスの開発

